

# 佐原駅周辺地区複合公共施設 管理運営ワークショップ結果報告書

## 1.開催概要

### (1) 開催の目的

佐原駅周辺地区複合公共施設は、図書館、ホールなどの貸出施設、子育て世代支援施設、観光情報発信施設など多様な機能を併せ持つ施設です。令和4年度冬の開館にむけ、3つのテーマを基に、参加者同士が交流を深めながら意見を出し合う参集型(グループ討論形式)とZoomによるWEB型(意見交換形式)の2つの方法により管理運営ワークショップ開催しました。施設のあり方や運営形態、実現したい事業等について、アイデアや意見を伺い、施設の具体的な運営に活かしていくことを目的に開催しました。

### (2) ワークショップテーマ

第1回 図書館、貸出施設、子育て世代支援施設等、各機能のあり方を考えます

第2回 複合施設のメリットを最大限生かす運営方法を考えます

第3回 利用増進、交流拡大につながる情報発信、広報、イベント等のあり方を考えます

### (3) 開催日時、開催方法、会場・募集人数等

#### 1) 一般

	開催方法	開催日時	会場	募集人数
第1回	参集型	令和3年11月11日(木) 18:30~20:30	市役所 5階会議室	50人程度
	WEB型	令和3年11月10日(水) 18:30~20:30	Zoom	20人程度
第2回	参集型	令和3年12月4日(土) 14:00~16:00	市役所 5階会議室	50人程度
	WEB型	令和3年11月24日(水) 18:30~20:30	Zoom	20人程度
第3回	参集型	令和4年1月24日(月) 18:30~20:30	市役所 5階会議室	50人程度
	WEB型	令和3年12月16日(木) 18:30~20:30	Zoom	20人程度

一般向け対象者：18歳以上の市内在住・在勤・在学者

#### 2) 中高生

	開催方法	開催日時	会場	募集人数
中高生	参集型	令和3年11月14日(日) 10:00~11:30	市役所 5階会議室	30人程度

## 2. 参加状況等

### (1) 一般

1) 応募者数 48人

2) 各回参加者数及び年代

(単位:人)

開催方法等		参加者数	年代別						
			20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
第1回	参集	28		2		7	3	14	2
	WEB	7	4		2	1			
第2回	参集	10			1	2	1	5	1
	WEB	8	4	1	1	2			
第3回	参集	9	1		1	1		5	1
	WEB	6	2		1	3			
小計 (延べ人数)	参集	47	1	2	2	10	4	24	4
	WEB	21	10	1	4	6	0	0	0
合計 (延べ人数)		68	11	3	6	16	4	24	4

### (2) 中高生

1) 参加者数 26人

2) 学校区分及び学年

(単位:人)

学校区分	参加者数	学年		
		1年生	2年生	3年生
市内高等学校 4校	12	6	4	2
市内中学校 7校	14	1	13	0
合計	26	7	17	2

### 3. ワークショップの進め方

#### (1) 参集型（グループ討論方式）

- 1グループ4、5人に分かれ、そ各回のテーマに準じて問を設定し、グループ対話をしました。
- グループ分けはくじ引きで決め、グループごとに参加者の中からホスト役、発表者、書記役を決めて進めました。
- 個人の意見はカード（付箋）に記入し、相談しながら模造紙に貼り付けます。
- 最後にグループごとにどのような意見が出されたか発表し、グループ対話の内容を参加者全員で共有しました。
- 新型コロナウイルス感染症対策の為、グループの入れ替えは行いませんでした。
- 第3回参集型はまん延防止等重点措置の適用に伴い、開催方法等を変更して行いました。
  - ①グループ討論方式から意見交換方式に変更
  - ②開催時間を1時間程度に短縮
  - ③ファシリテーターのオンラインによる参加（県外からの参加者の制限）

#### (2) WEB型（意見交換方式）

- 全員が同じZoomのチャンネルに参加しました。
- 参加者は、ファシリテーターの進行でテーマごとの問いに対しそれぞれに発言をし、意見を出し合いました。
- ファシリテーターを中心に参加者同士で意見の聴取、賛同、追加をし、各テーマの深堀をしたり、範囲を広げたりと自由な意見が出されました。
- チャット機能を活用し、ほかの方の発言中も自由に書き込みをし、幅広い意見を共有しました。
- ファシリテーターが意見を集約し、追加の意見や質疑を行い、最終的な意見としてとりまとめました。

#### (3) 中高生対象（グループ討論方式）

- 市内の高等学校及び中学校の生徒が集まり、全3回のテーマについて意見を出し合いました。
- グループ分けは、高等学校と中学校を分けずにくじ引きで決め、一般の参集型の開催方法と同様にグループ討論方式により開催しました。
- それぞれのテーマに対して感じたこと、率直な意見を積極的に発言し、グループ全員で意見を取りまとめました。
- 最後にグループごとにどのような意見が出されたか発表し、グループ対話の内容を参加者全員で共有しました。

## 4. ワークショップでの主な意見や発表内容

### ■第1回ワークショップ

<テーマ>図書館、貸出施設、子育て世代の施設等各機能のあり方を考えます

問1) どんな施設になってほしいですか(あなたの理想)

問2) 図書館、貸出施設、子育て世代施設、イベントスペース、ホールが同じところに集まったらどんな新しい使い方ができると思いますか

問3) 新しい施設ができた時に、自分がやってみたいことは何ですか

<主な意見や発表内容>

#### ●図書館に関すること

- ・本が古いので新しくし、デジタル図書の導入にも取り組んでほしい。
- ・香取市民以外の利用も出来るとよい。
- ・作家を呼んだイベントや障害をもつ子どもへの読み聞かせをやってほしい。
- ・開館時間をもっと長くしてほしい。
- ・図書館ボランティアをしたい。
- ・図書館が楽しみ。自然の中にあって利用しやすい潮来図書館のような図書館になってほしい。
- ・図書館の充実(蔵書、DVD、CD、マンガなど)。
- ・高校や大学進学に関する資料収集、情報提供をしてほしい。

#### ●貸出施設に関すること

- ・佐原中央公民館と同程度のサービスを確保してほしい。
- ・佐原中央公民館の登録サークル制度、備品保管、予約受付期間を長く、印刷機、コピー機の利用が出来るようにしてほしい。
- ・利用料金を安く、また電子マネーで払えるようにしてほしい。
- ・利用団体の活動成果を見せられる展示スペースがほしい。
- ・社会教育法に縛られない、幅広い使い方ができるようにしてほしい。
- ・学生が来たくなるように、ダンスなどが出来るような施設にしてほしい。
- ・ボランティアをポイント制にし、有料施設(会議室やホール等)を安くまたは無料で使えるようにしてほしい。

#### ●子育て支援施設に関すること

- ・子育て相談、お母さんが集える場所、一時保育機能、赤ちゃんと遊べるスペースがほしい。
- ・遊びのプログラムなどソフトの提供。
- ・子育て世代を対象としたイベントの実施。
- ・子育て世帯と高齢者世帯の交流拠点となってほしい。

## ●観光情報発信施設に関すること

- ・周辺観光の情報発信基地になってほしい。
- ・他の市内施設の状況や観光情報（混雑状況、桜の開花情報など）が把握できる機能があるとよい。
- ・デジタル利用でSNSに連動して掲載されるなど、もっとオープンな情報発信ができるとうい。
- ・バスの路線の状況をわかりやすく表示。駐車場の混雑情報や宿泊施設の情報など、他の観光施設とは異なる情報発信機能があるとよい。

## ●施設全体に関すること

- ・駐車場は無料にしてほしい。
- ・駐車場の満空情報がわかるようにしてほしい。
- ・市民が利用するだけでなく携われるしくみも必要。
- ・学生が集まれる場所、次のステップに踏み出せる場所、相談できる場所になってほしい。
- ・近隣は高校生（学生）が多いため、いつでもWi-Fi利用や勉強ができるようにしてほしい。
- ・施設近隣の歩道が狭い。また観光客が休む場所がない。
- ・創業拠点機能として期待します。施設に行けば何かしら（気軽な）イベントなどをやっているのが理想。
- ・三河安城の複合施設のように祝日でも開館してほしい。
- ・施設の利用がまち中への滞留時間延長につながってほしい。
- ・各フロア、各機能、各世代が混ざる仕組みがあるとよい。オープンスペースがその機能（人とのふれあい）を果たすと思われる。
- ・各部屋の利用方法を限定するのではなく、幅広く自由な利用ができるとうい。
- ・町並み交流館のように人々が寄り合い、気軽に椅子に座ってお茶が飲めるような空間があるとよい。物理的に寄り合いがつけれる機能やただ暇を潰せるスペースがふれあいをつくる。
- ・文房具などが買えるショップ、プリクラ、ゲームコーナーがほしい。
- ・ブックカフェで子供向けのメニューがあるとよい。
- ・電車待ちのタイミングなどで気楽にふらっと寄れる場所、クッション、wifi、ボードゲームなどを置き、ひとりでも友達とでもリラックスできるスペースがよい。
- ・施設まで市内のどの地域からでも来られるバスがあるとよい。
- ・wifiを設置してほしい。
- ・お年寄りや小さい子が楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮してほしい。

## ●施設でやってみたいこと

- ・書道作品、水彩画、歴史的資料、写真の展示会等。

- 食育セミナー、子供向け科学実験、ドローン教室、けん玉教室、バザー、フードバンク等。
- スケートボード、ダンス、コーラス等。
- 健康、カラダづくり、親子で参加できるイベント。
- 地域の飲食店を集めたマルシェ、キッチンカーを使ったイベント。
- 祭りと絡ませたイベント。大祭と合わせて飲食スペースなどを展開。
- 何か新しいことを始めたいという方が気楽にはじめられる場所。そのようなちょっとした相談や人と人を繋げることができるとうい。
- 市内だけでなく市外の活動とも連携してほしい。
- 健康教室、メンタルケアなどの相談、体操教室等。
- 仕事終わりに参加できる教室があるとよい。
- 市内の高校がビジネスコンテストでテナント利用を考え、運営できるような仕組みがあると楽しいと思う。
- 香取市は映画館がない。野外でもいいので屋上のデッキで映画上映できると良い。
- キッチンカー用の野外電源装置があるとよい。
- イベント用テントなどのレンタル機能、キッチンカーレンタルなども試験的にできる場所になると嬉しい。
- 学生の部活動や趣味などの成果を発表できる場となってほしい。
- 市内外問わず交流できるイベント・講座（夏祭り、文化祭、スポーツ、ダンス、映画、英会話、バザー、パソコン教室等）
- 小さな子供たちの見守りや学習補助、図書館での貸し出し手伝い、掃除などをボランティアとして協力したい。

## ■第2回ワークショップ

### <テーマ>複合施設のメリットを最大限生かす運営方法を考えます

- 問1) 子どもから高齢者まで、幅広く多世代が交流できるようにするには、どのような運営手法・運営体制が必要だと思いますか
- 問2) 利用者の視点からだけでなく、市民が積極的に運営に参加できる、お手伝いできる手法は何だと思いますか
- 問3) どうしたら複合公共施設と地域商店街や佐原の町並エリアと連携し、地域活性化に繋げることができると思いますか

### <主な意見や発表内容>

- 問1) 子どもから高齢者まで、幅広く多世代が交流できるようにするには、どのような運営手法・運営体制が必要だと思いますか
- ・食事は人が集まる機会となる。親子、多世代での食事ができる場所があるとよい。
  - ・イベントや行事で人をつなぐ(伝統行事、昔遊び、マルシェ、バザー、朝市、物販、展示会等)。
  - ・多くの人が集まりたくなる場所になるよう、世代ごとに機能の充実を図る。(高齢者=椅子 親子=遊び場、カフェ 中高生=図書館、グループワーク、)
  - ・若い世代の参加がほしい。古い体質を乗り越えることが必要。
  - ・商工会等の事業やイベントとの連携、他地域との連携、市生涯学習課との連携。
  - ・読み聞かせ、紙芝居、昔遊び交流会。
  - ・1階の目立つところでイベントなどの仕掛けが必要。月曜日と年末年始も開館してほしい。佐原通りも24時間365日。
  - ・人々の交流のためにはマッチングさせる「ひと」が必要。
  - ・ユニバーサルスポーツ、年齢問わず楽しめるイベント(ボッチャなど)。
  - ・市民参加、ボランティア参加をポイント制に。
  - ・365日いつでもいられるスペース。目的やお題に応じて人々が集まるサロン。
  - ・市民主導のサポート制度があるとスタッフと有効的になるなど、運営が円滑になる。
  - ・香取市は地域のコミュニティが多く存在していて、横のつながりもある。そのような交流をモデルにするとよい。
  - ・社会福祉協議会のボランティア団体さんがイベントしやすいようすると賑わいが出ると思う。
  - ・佐原以外の地区の集客やイベントなどにも配慮し、誰もが参加できる開かれた運営が必要。

●問2) 利用者の視点からだけでなく、市民が積極的に運営に参加できる、お手伝いできる手法は何だと思えますか

- ボランティア活動（登録制、マッチング、年間通して行う）にポイント制を導入し、ポイントでの施設利用ができるとうい。
- 利用者の得意なことを発信できるように、多様なポイントを考える。
- 運営協議会の設立により企画段階から市民参加できるとよい。
- イベントや教室などは幅広い世代が参加できる日時を設定（仕事帰りなど時間帯も）。
- いままでは電話でしか予約できない催しが多かった。WEB予約ができると便利。
- 近隣は祭りなどで町内のコミュニティは多い方である。今後若い人がイベントを開催すれば若い人の参加が見込めると思う。
- スーパーにある掲示板のように、気楽に情報伝達ができる仕組みがあると馴染みやすい。地域の人が見ているメディアで取り扱うことが重要。
- インスタグラムの投票機能などを活用し、ボランティア参加へのハードルを下げる仕組みがあるとよい。
- 紙媒体での広報だけだと見逃しやすい。電車の待ち時間の人向けに周知するなど、情報の発信の仕方をわかりやすくするとよい。
- 若い人が参加しやすい仕組みづくりが重要だと思う。ちょっと習い事ができる場の提供、電車待ちの3、40分対象のイベント等
- 幅広い世代が知ることができる、参加できる情報発信。市のホームページだけではなく、ローカルの媒体やSNSなども活用するとよい。

●問3) どうしたら複合公共施設と地域商店街や佐原の町並エリアと連携し、地域活性化に繋げることができると思えますか

- 告知方法が多様化（紙、ネット、SNS、口コミ等）していることから、ターゲットを見越した発信が必要。
- 佐原地区だけでなく市全体へ情報発信。
- 町並みと連携してイベントを開催する。また、スタンプラリーなどで町を回遊出来る仕組みがよいのでは。
- 日常的に、まちのイベントのお手伝いもしないと、自分の施設のイベントだけ協力してっていうのは難しいと思う。
- 観光客をターゲットにしたお土産のセレクトショップなど。
- 町中の方々と連携したサポーター制度のような仕組みを作っては。マルシェを開催したり、B.B.BASEとの連携も大切。
- イベントスペースで交代制の百貨店などを行っても良いと思う。
- 町中へのアクセス方法など情報提供が大切。サイクリングの方々の対応（ロードバイクなど）についても気を配れると良いと思う。
- 商店街との相乗効果を図れるとよいと思う。



## ■第3回ワークショップ

＜テーマ＞利用増進、交流拡大につながる情報発信、広報、イベント等のあり方を考えます

問1) 利用増進、交流拡大につながるイベント、予約の仕組み、使用料の払い方とはどのようなものが考えられますか

問2) 利用増進に向けてどのような情報発信の仕方が有効だと思いますか

問3) 今からできる市民に関心を高めてもらう具体的な活動はありますか

＜主な意見や発表内容＞

●問1) 利用増進、交流拡大につながるイベント、予約の仕組み、使用料の払い方とはどのようなものが考えられますか

- ・ボードゲーム（例：なんじゃもんじゃ）を通じて交流を図る。初めての人でも打ち解けられ大人数での参加も可能。
- ・子供が自由に交流できる場になってほしい。児童館が山田地区にしかない。バスで誰でも来られるようになるとよい。
- ・親子が一緒に参加できるようなイベントを開催してほしい。
- ・図書館もあるので子どもがイベントに参加しても、親は同じ施設内で待つことが出来て便利だと思う。
- ・イベントやボランティア等への参加に応じたポイントやクーポンの発行。参加することでお得感が出ると行くのでは。ポイントはアプリで管理できると便利。
- ・自分の得意なことを教えてポイントをもらえるような仕組みがあると良いと思う。
- ・ポイントをアプリで管理するのは経費がかかるため現実的ではないと思う。
- ・香取市内にいてもできる仕事や趣味に繋がる教室や研修をしたらどうか。
- ・プログラミング教室は、子供向けに定期的で開催している。講師も市民の人がやるのが良い。得意分野を持つ人を募り講師になってもらうと良いのでは。
- ・運営にはイベント専門のコーディネーターが必要だと思う。そのような人材を見つけることが重要でイベント構築はもちろん、利用者のサポートもできるとよい。
- ・WEB 上での予約や支払いは非常に便利だと思う。いざという時のため窓口での申込、決済も残してほしい。

●問2) 利用増進に向けてどのような情報発信の仕方が有効だと思いますか。

- ・施設で遊んでいる場面を撮影して youtube などで発信したらどうか。今は何かやろうとすると動画を見るのが流れだと思う。
- ・SNS はすぐに情報が流れていく。逆に今は紙情報がうけるのではないか。スーパーの掲示板は結構見ている人が多い。チラシ、広報、新聞折り込みが効果あると思う。しかし、新聞を取っていない家庭も増えている。
- ・広報以外の情報媒体が必要。広報への掲載は締め切りが早くてタイムリーな情報を載せられない。

- SNSは見に行かないと見ない傾向がある。
- 立て看板や捨て看板は効果があると思う。
- イベントを定例化することでリピーターは増えていくと思う。
- 自治会による配付や回覧も効果があると思う。
- 紙とデジタル双方にメリットデメリットがある。その両方を活用したらどうか。
- 市の広報などにQRコードを載せて循環する手法も可能だと思う。網の目のような情報の発信の仕組みが理想。
- 新聞、放送企業へのイベント情報の提供。プレスリリースを活用すべきでは。
- 誰をターゲットにどのような情報を出すかの戦略が大事だと思う。
- バスや電車の中吊り広告も効果があると思う。

●問3) 今からできる市民に関心を高めてもらう具体的な活動はありますか。

- 施設の開館までのカウントダウンをしたら面白いと思う。
- 施設の工事スケジュール等をお知らせしてはどうか。いつオープンするのか等。
- 内覧会などを行い、一度来てもらう仕組みがあると周知が早いと思う。
- 佐原はお祭りが有名。お祭りを絡めて広報してはどうか。
- 施設名称を公募してみてもどうか。

●その他

- 利用の目的によって料金の減免制度があるとよい。
- お祭りの日に合わせて、半纏の貸し出し等をして気軽にお祭り気分を味わえたりすると楽しいと思う。
- カラオケができるような部屋があると良い。
- イベントや講座等を開催しやすくするため、予約受付を早めにして欲しい。ど
- オンライン等で遠方の方も予約・決済ができるとよい。それと同時に対面での対応も必要だと思う。
- 若い人たちからも色々なイベントの企画を受け入れやすい運営体制が必要。